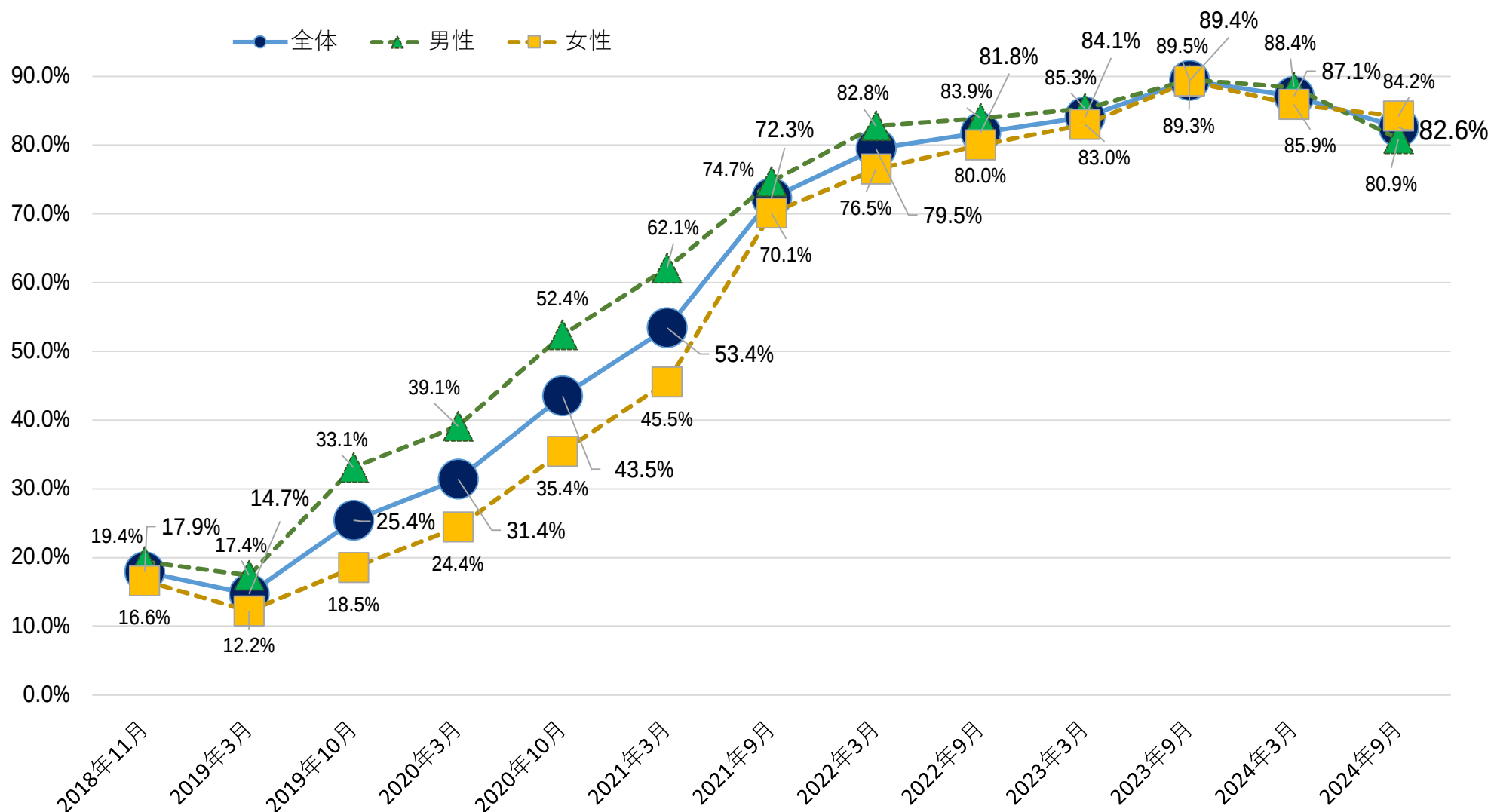


SDGs認知度調査（Qネット）

2024年9月調査

大阪府のネット調査（おおさかQネット）を活用して、府民を対象にSDGsの認知度を調査
（対象者条件：18歳以上の男女、サンプル数：1,000名）

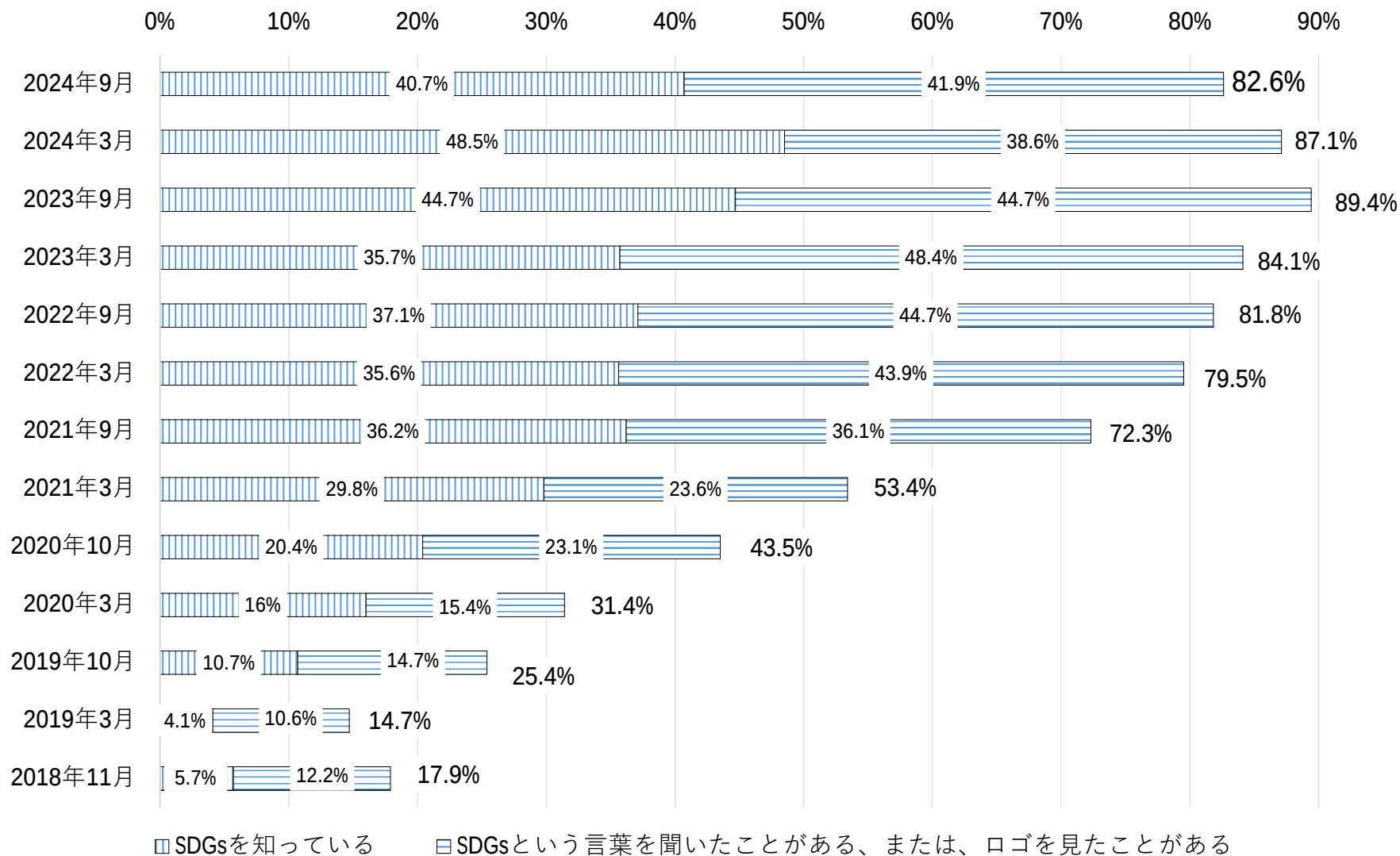
府民全体の認知度は、82.6%。（2024年9月時点）



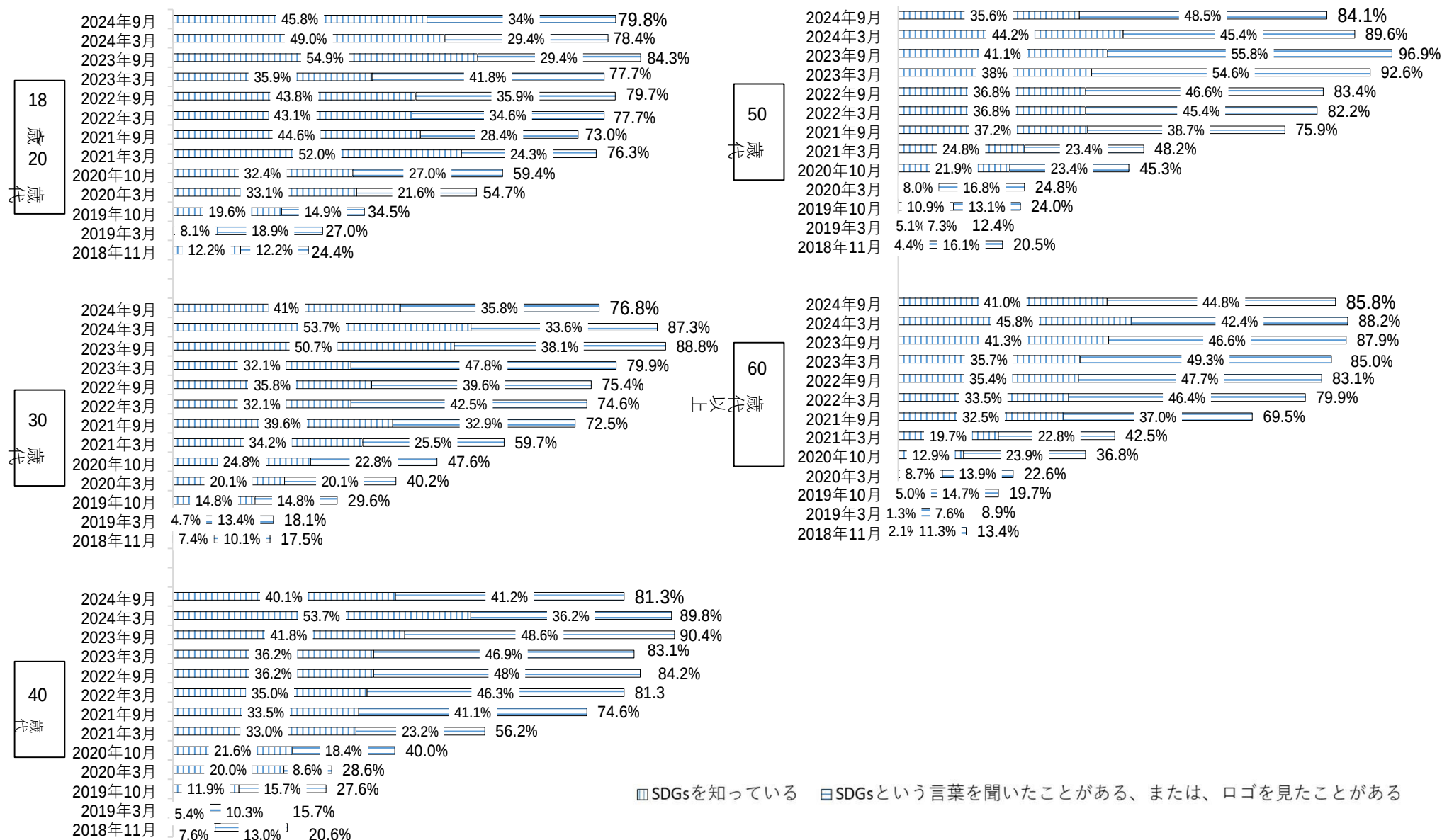
※「SDGsを知っている」と「SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある」の合計をSDGsの認知度としている。

○ 直近2年のSDGsの認知度は、概ね80%を超える水準で推移している。

■SDGs認知度（全体）



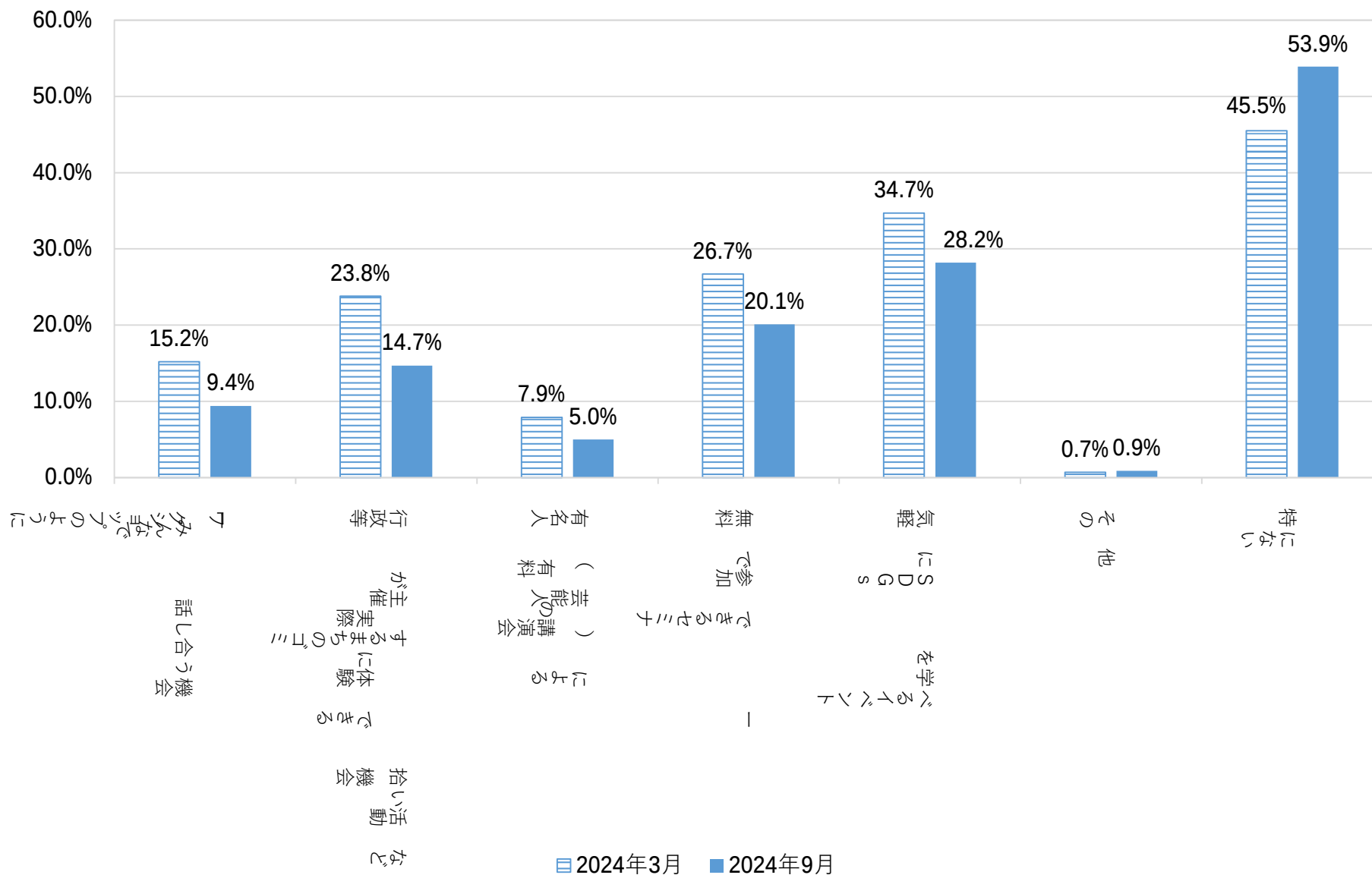
- 18歳～20歳代、30歳代では、認知度が80%を下回っている。
- 「SDGsを知っている」と回答した方の割合は、50歳代を除いて40%を上回っている。



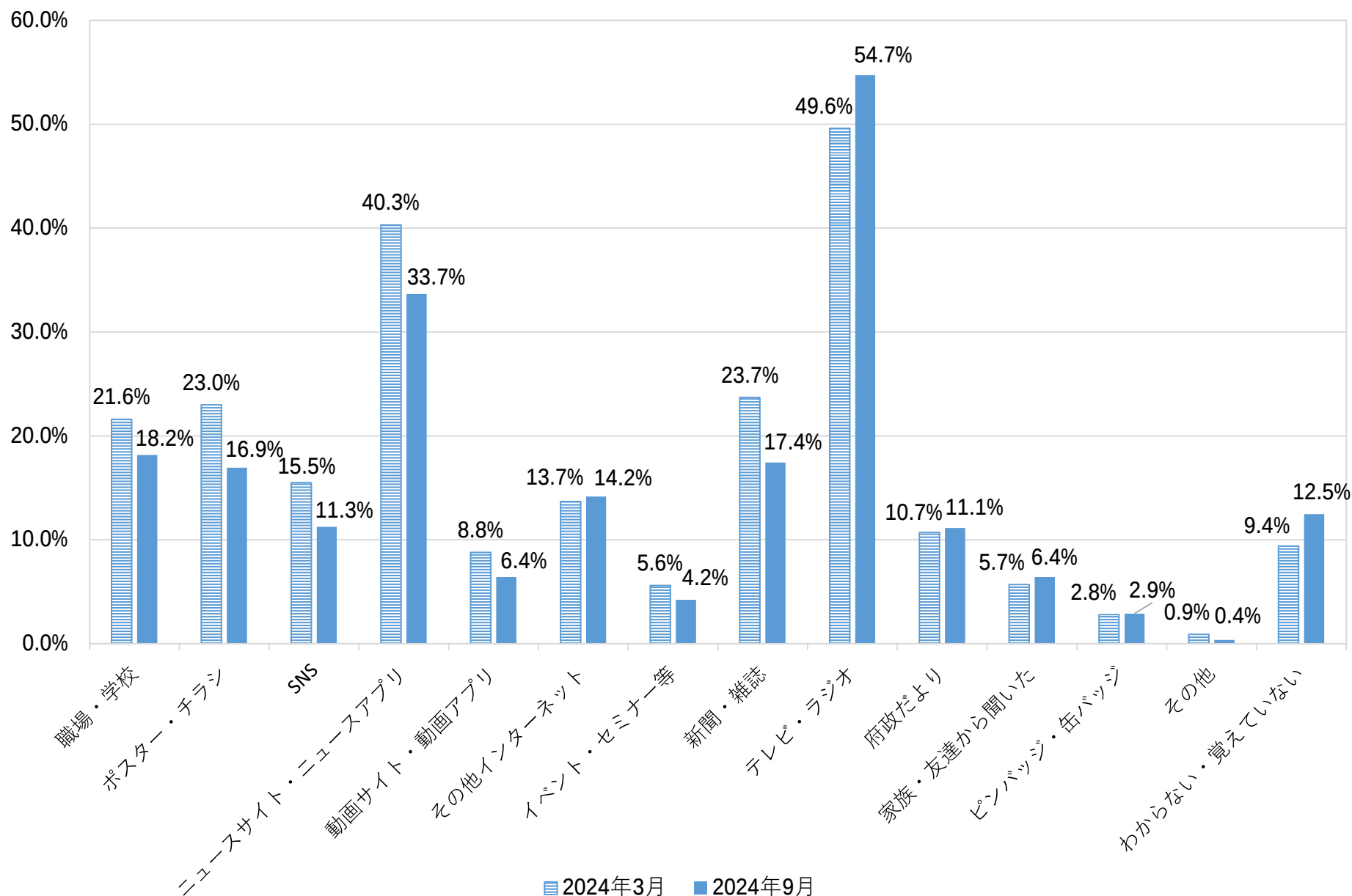
SDGsに関心が高まる機会（複数選択可）

4

○ SDGsに関心が高まる機会は、「気軽にSDGsを学べるイベント」、「無料で参加できるセミナー」、「行政等が主催するまちのゴミ拾い活動など、実際に体験できる機会」の割合が高い。



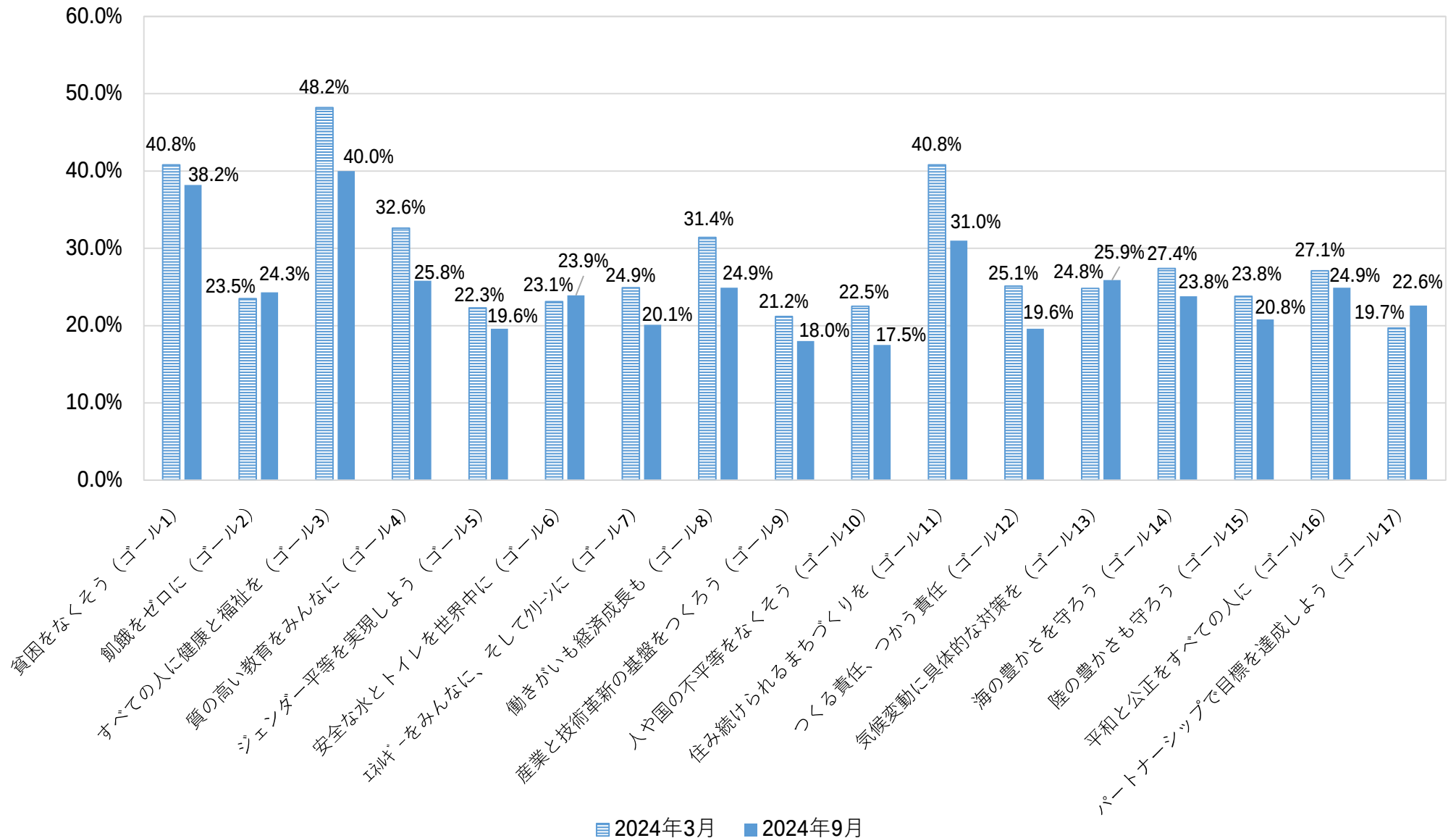
○ SDGsを知ったきっかけは、「テレビ・ラジオ」が最も高く、次いで「ニュースサイト・ニュースアプリ」が高い。



大阪で重要だと思うゴール（複数選択可）

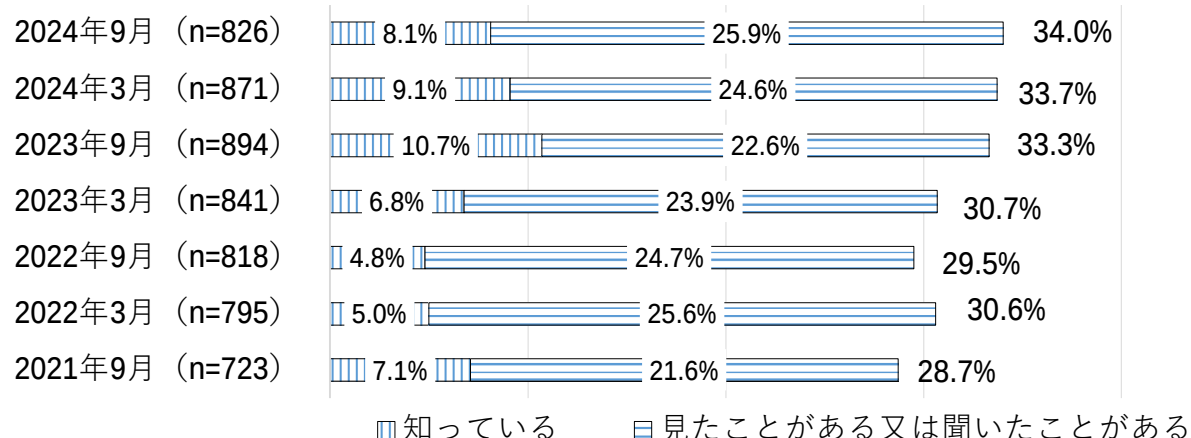
6

○大阪で重要だと思うゴールは、「すべての人に健康と福祉を（ゴール3）」、「貧困をなくそう（ゴール1）」、「住み続けられるまちづくりを（ゴール11）」の割合が高い。

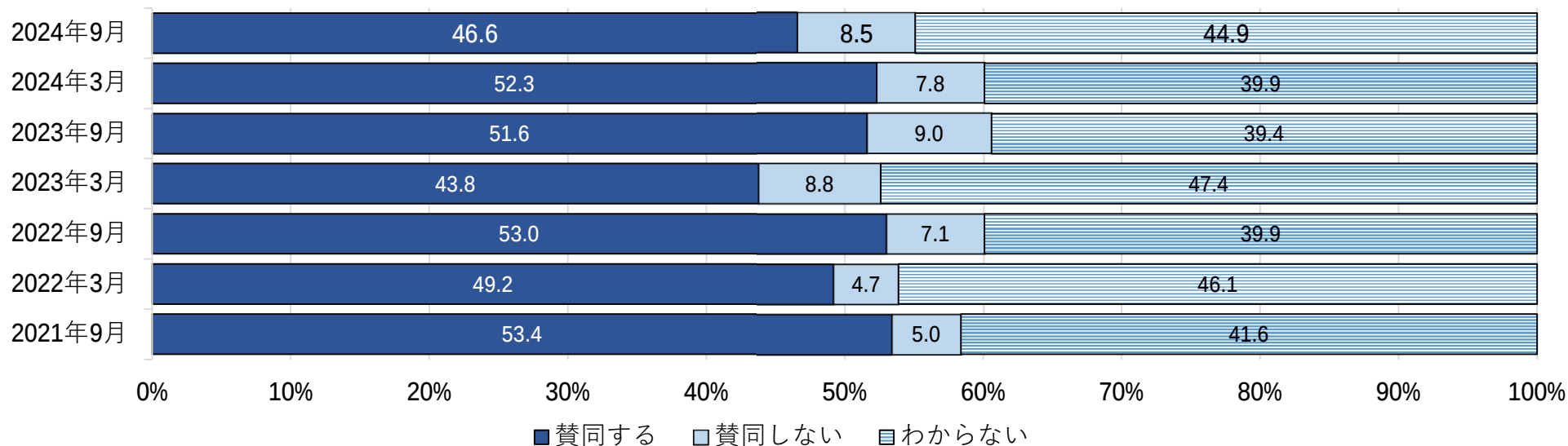


- 大阪SDGs行動憲章の認知度は、34.0%。
- 大阪SDGs行動憲章の趣旨への賛同率は、46.6%。

■ 大阪SDGs行動憲章の認知度

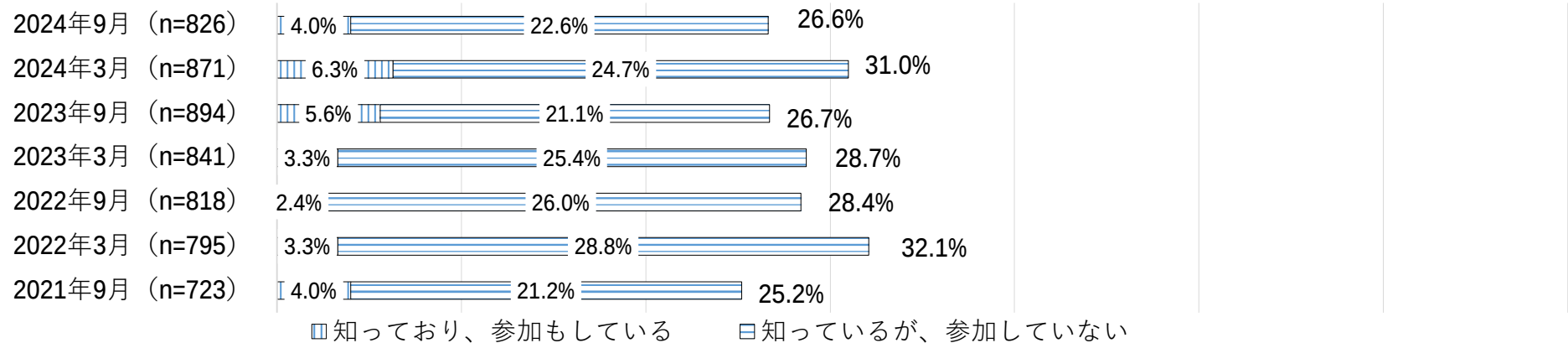


■ 大阪SDGs行動憲章の趣旨への賛同率

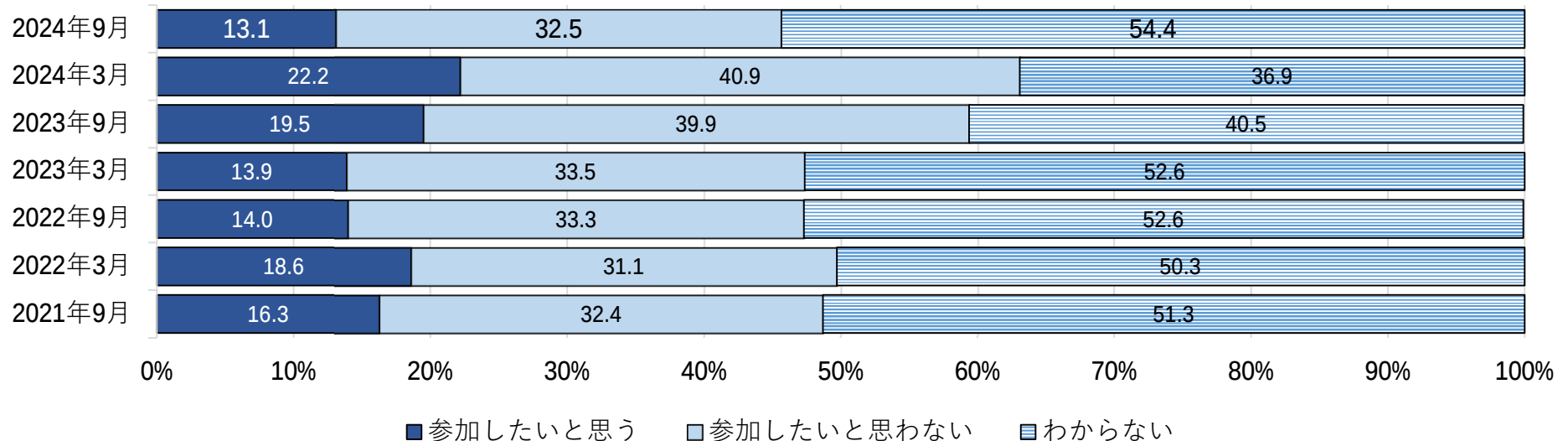


- 私のSDGs宣言プロジェクトの認知度は、26.6 %。
- 私のSDGs宣言プロジェクトに参加したいと思う方は、13.1 %。

■私のSDGs宣言プロジェクトの認知度

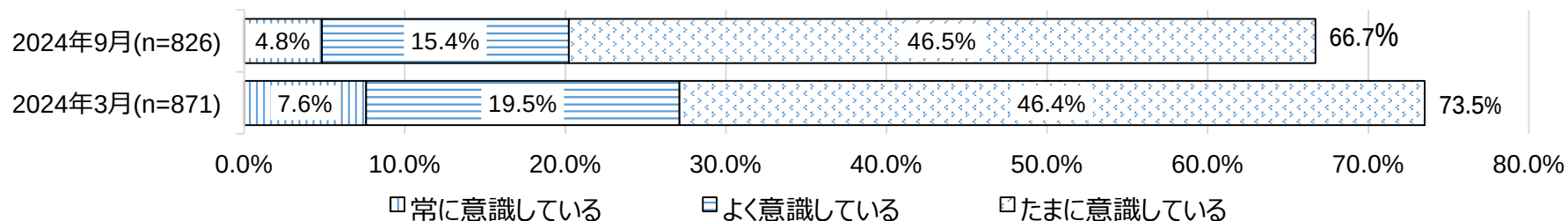


■私のSDGs宣言プロジェクトへの参加意思

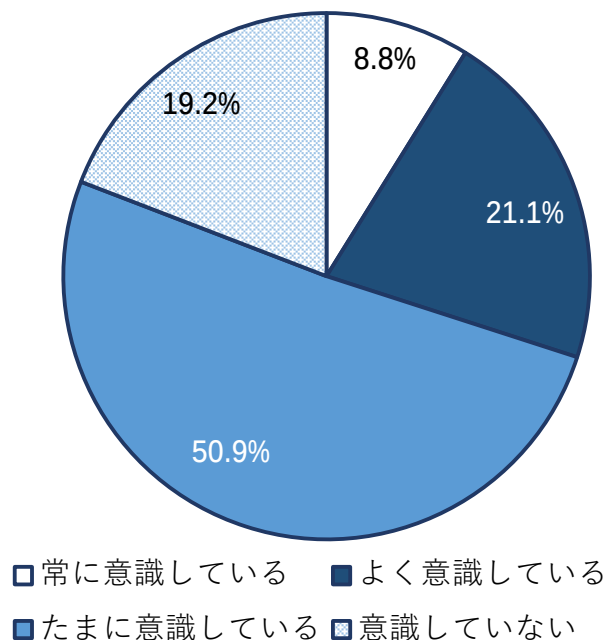


- SDGsを「常に意識している」、「よく意識している」、「たまに意識している」の合計は、66.7%。
- 「SDGsを知っている」と回答した方は、「SDGsという言葉は聞いたことがある、又はロゴを見たことがある」と回答した方より、SDGsの意識度が高い。

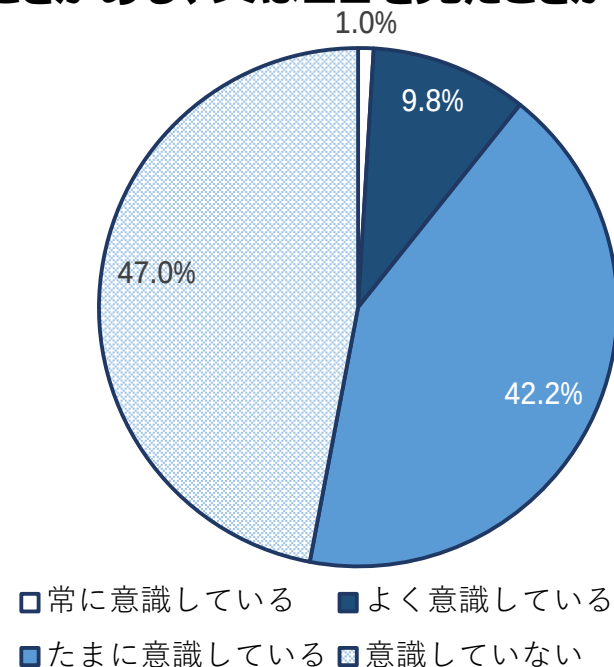
■ SDGs意識度（全体）



■ SDGs意識度（SDGsを知っている）

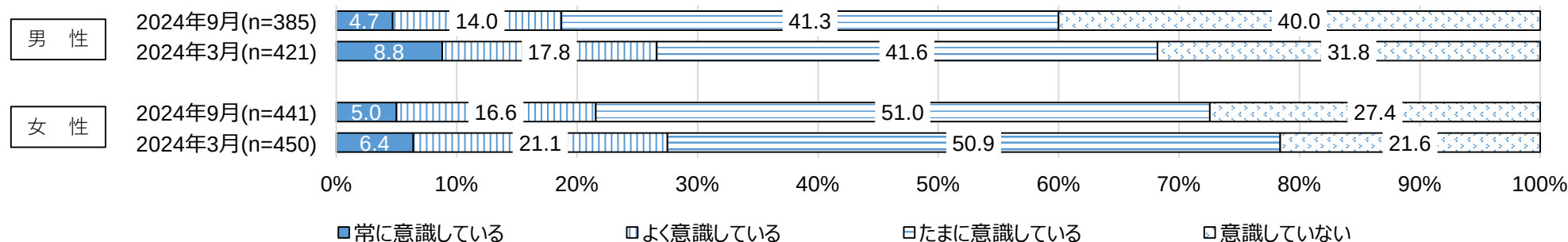


■ SDGs意識度（SDGsという言葉は聞いたことがある、又はロゴを見たことがある）

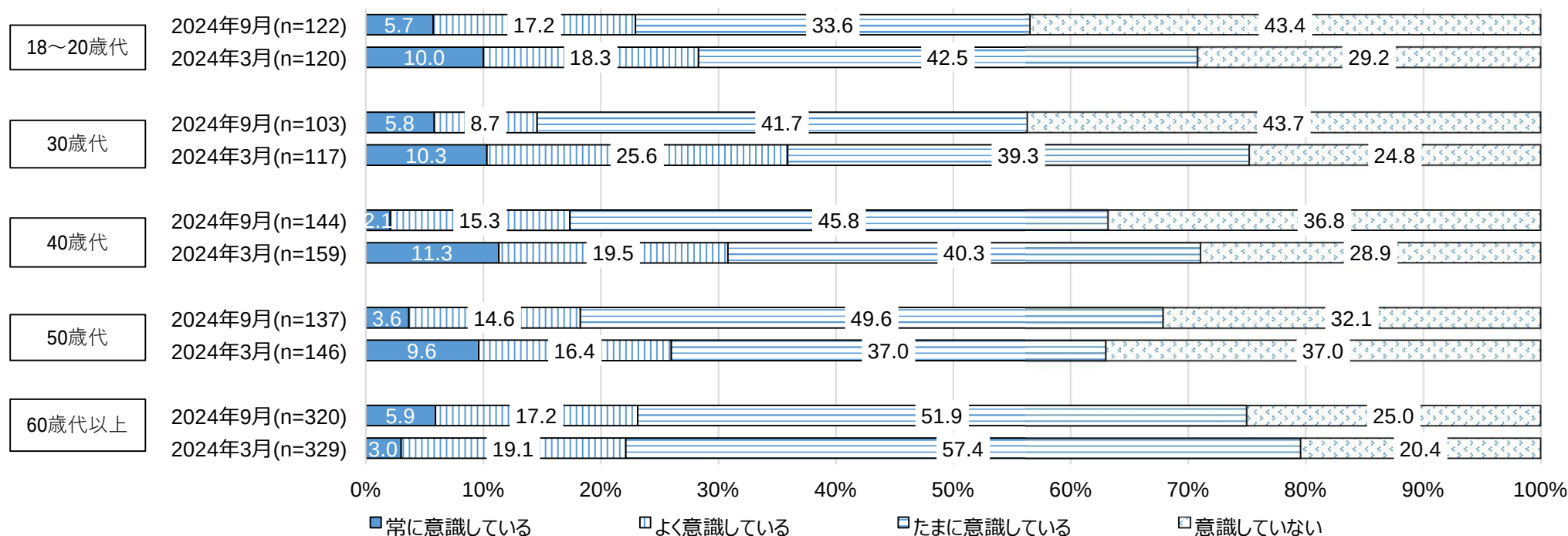


- 男女別では、女性の意識度が高い傾向にある。
- 18～20歳代、30代の意識度は60%を下回っている。

■ SDGs意識度（性別）

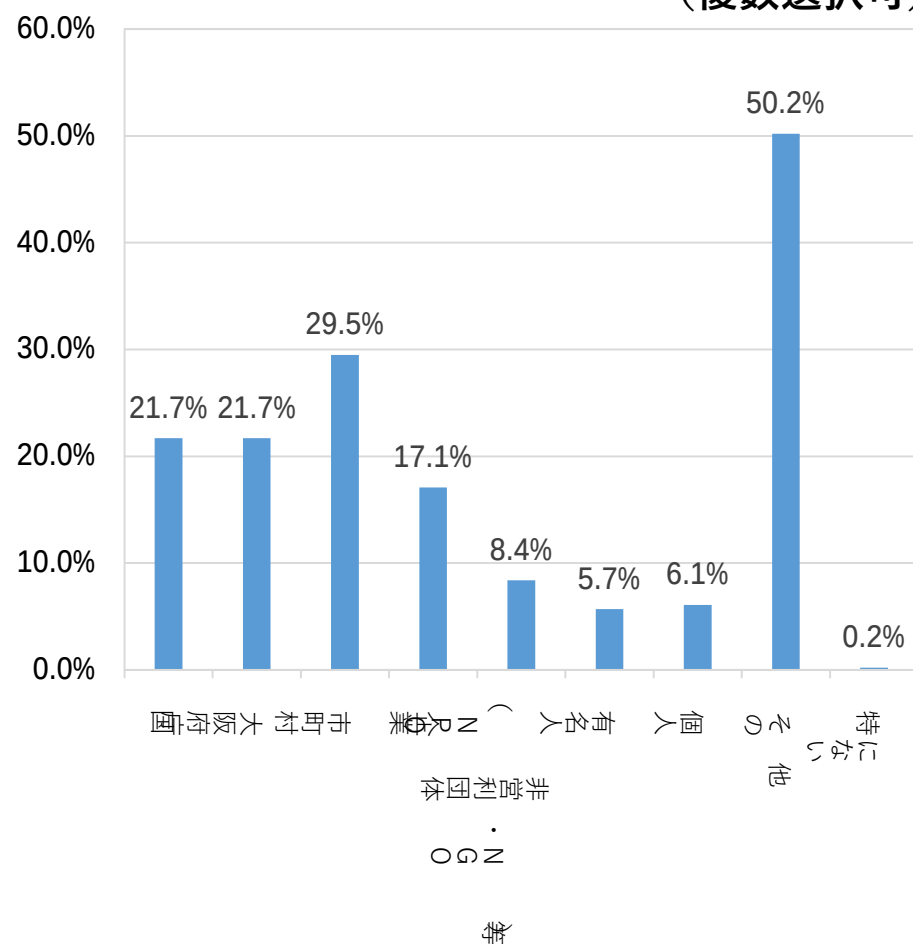


■ SDGs意識度（年齢別）

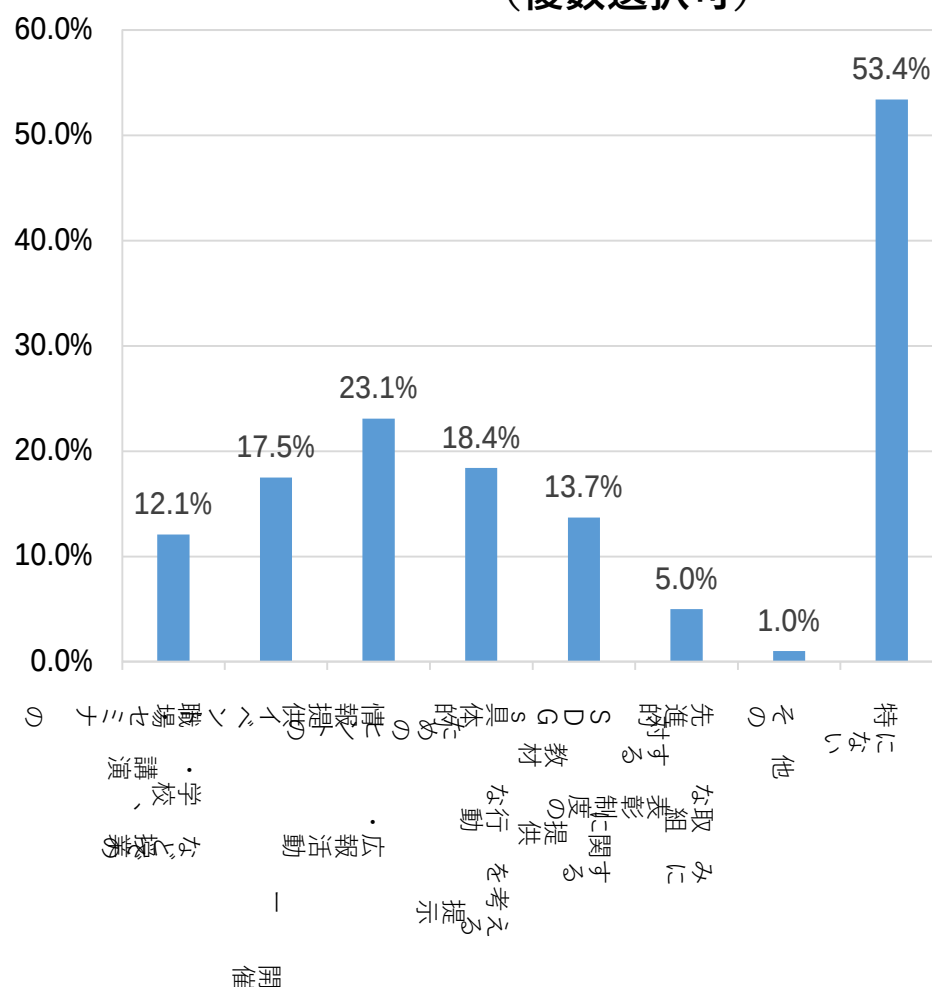


- といった団体等が行う取組に興味があるかについては、「市町村」、「国」、「大阪府庁」、「企業」の割合が高い。
- SDGsを広めるため大阪府に期待する取組みは、「情報提供・広報活動」、「具体的な行動を考えるためのヒントの提示」、「イベント・セミナーの開催」の割合が高い。

■ といった団体等が行う取組に興味があるか
(複数選択可)



■ 大阪府に期待する取組み
(複数選択可)



- ・ マイバッグ、マイボトル、マイ箸を持参する。
- ・ 買い物のときにエコバッグを持参する。
- ・ 二酸化炭素の排出が少ない商品を購入している。
- ・ サステナブルグッズやフェアトレード製品を購入する。
- ・ 詰め替えできるものは詰め替えの品を買う。
- ・ 使う側の責任を常に意識し消費生活を送っている。
- ・ 地産の食品を購入し残さず食べる。
- ・ 食べれる量だけ食料を購入し、なるべく廃棄を出さない。
- ・ すぐにものを捨てるのではなく、可能な限り使うようにする。
- ・ 使える物でいらなくなったものは人に譲る。
- ・ リサイクルやリユースによるごみの削減
- ・ 過剰包装を避ける。
- ・ 河川や海岸のゴミ拾いに参加するようにしている。
- ・ 節水、節電を心掛ける。
- ・ エアコンの設定温度は**28℃**にする。
- ・ 環境に負荷を与えないように、合成洗剤など使わず水資源を大事にすることを心がけている。
- ・ 近場では徒歩や自転車での移動を心掛ける。
- ・ 家に植物を植えグリーンカーテンを作って涼をとれるようにしている。
- ・ 寄付をする。
- ・ 健康づくりに関する活動にボランティアで参加する。
- ・ 男女平等を心掛ける。
- ・ ジェンダーについてはあるがままを受け入れる。

等